

健康福祉部長の答弁では、前もって言っておいてくれれば上限を多くできるとのことでした。

移動支援をお使いの方で今月は上限以上時間が必要だなと思われる方は、障害者福祉課まで連絡をしてください。

それでも断られた場合は、千一にご連絡ください。

4. 通学路につき注意

最近、「通学路注意」といった路面標示が所々にあります。とても多くなりました。これはとても良いことだと思います。

私の地域では“見守り隊”というボランティアの方達があり、児童の通学時の安全確保のために、活動していただいております。

そういう温かい気持ちが、子供の心身の発達にも大きく影響しているのではないかと思われます。温かい市民のみなさん、これからもよろしくお願ひいたします。

5. 災害時の要援護者対策について

要援護者の方が住まわれている地域で、津波に限って言えば、材木座・由比ヶ浜・長谷・坂ノ下・極楽寺・稻村ヶ崎・七里ヶ浜東・七里ヶ浜・腰越など、海の近くの地域があります。その地域にお住いの方は、不安を抱えておられると思います。

今、鎌倉市のいくつかの地域では、そのような時のために、町内会に呼びかけて、鎌倉市としては何ができるのか、町内会としては何ができるのかをモデル的にやっているところもあります。

それを全地域でやって欲しいものですね。

参考資料として、

「かまくら防災読本」
(編集・発行：鎌倉市防災安全部 総合防災課)

などがあります。

そして、私も含めた要援護者は、地域の町内会や民生委員さんに「私がここにいるのだ」と知らせておくことも大切ですね。

私自身もどこまでできていることやら・・・。

千一(せんはじめ)の議会における HOW TO (Q & A)

Q. 言葉がしゃべれない千一は、どうやって質問するの？

A. あらかじめ質問の文章を提出しておき、代読していただきます。

Q. その文章はどうやって書くの？

A. 「音声キーボード」を、左足の親指で叩いて、書き取ってもらいます。疲れて目が見えなくなると、書き取り者の手に、ひらがなで、一文字ずつ、足で書くのです。

Q. 足で？！ 時間がかかるでしょうね。

A. 膨大な時間と労力がかかります。足が疲れると、読み取りにくくなり、一文字を理解するのに、何分もかかることも……。

Q. だれが書き取るの？

A. 特定の人を定めていません。過去14年間を通じて「手伝ってみようかな」というボランティアの方々が、声をかけてくださいます。文章は、千一が作ります。